

今回商議ノ目的トシ帝国ノ主張ニ対シテハ均等海軍必スシモ安全ノ均等ヲ意味セス必要ナルハ海軍ノ均等ニアラスシテ安全ノ均等ナル処現存条約ハ日英米ノ相對的安全ヲ確保シヲレリトテ反対シ又兵力ノ攻擊的ナリヤ防禦的ナリヤノ區別ハ議論ヲ混乱セシメ協定ヲ不能ナラシムトナシ且華府条約ノ廢止ハ平和機構ヲ破壊シ建艦競争ヲ誘致スヘシト主張シ英國側ニ於テハ巡洋艦ヲ七十隻ニ増加スル外大体現有艦船ノ保有ヲ必要トシ且全般的ニ質的制限ヲ行ヒ量的制限ニ付協定不成立ノ場合ニモ質的制限ノミハ之ヲ行ハントスルノ態度ヲ持シ帝国ノ主張ニ対シテハ各国ノ「ヴァルネラビリティ」ニハ差等アルヲ以テ之ヲ無視シテ一率ニ兵力量ノ共通最大限ヲ設定スルコトニハ賛成シ難ク攻撃防禦ノ區別ハ困難ナリ又新協定成立前ニ華府条約ノ廢止通告ヲ為スコトニハ同意スル能ハストノ態度ヲ明ニセリ

斯クテ交渉ハ行惱ミノ形勢トナリタル處十一月七日英國側ハ交渉打開策トシテ新条約ニ於テハ(一)各國ハ其海軍力ニ閑シ平等ノ「プレステイジ」ヲ有スルコトヲ約シ(二)現實兵力ニ閑シテハ各国カ自發的且一方的ニ建艦計画ノ宣言ヲ行ヒテ相互ニ建艦計画ヲ了知セシムル趣旨ノ非公式示唆案ヲ我方ニ提示セリ之ニ対シ帝国代表ハ訓令ヲ体シ帝国ハ單ニ権利トシテノミナラス現實ニ英米ト海軍力ノ均等ヲ得ントスルモノナルヲ以テ英國側ノ示唆案カ単ニ「プレステイジ」ノ平等ノミヲ認メ現實兵力ニ閑シテハ大體現有勢力ヲ基準トセントスルニ於テハ之ヲ認ムル能ハサルコトヲ明ニシタルカ米国側ニ於テモ英國側ノ示唆案ニハ氣乗リセサル態度ヲ示シ交渉ハ全く行詰リノ形トナリタル處予テ大体ニ於テ予備交渉ニ冷淡ナリシ米国代表ハ帝國カ華府条約ヲ廢止スルノ時期近ツクヤ之ヲ機トシテ帰國ノ意向ヲ漏ラシ英國側ハ之ヲ引留メ居タルモ結局予備交渉ヲ休止ス

ルコトトシ十二月十九日三國代表會議ニ於テ交渉休止ニ閑スル「コミュニケ」ヲ決定二十日之ヲ公表シ茲ニ予備交渉ハ休止セラレタリ

英米両国カ華府条約共同ノ廢止通告ニ不同意ノ態度ヲ示シタルハ前頭ノ通ナルカ仏伊両国モ十一月下旬我方ヨリ共同廢止通告方提議セルニ対シ不同意ノ旨ヲ明ニセリ依テ政府ハ既定ノ方針ニ遵ヒ帝國独自ノ措置トシテ十二月二十九日在米大使ヲシテ米国政府ニ対シ華府条約廢止通告ノ手続ヲ為サシメタリ

第一章 予備交渉開催ヨリ一時中止（七月）迄

第一節 予備交渉開催ニ至ル経緯

(一) 英国政府ノ提議

倫敦条約第五編第二十三条ノ規定ニヨリ倫敦条約加盟国ハ昭和十年ニ海軍會議ヲ開催スヘキコトトナリヲル処昭和九年五月十七日英国外相「サイモン」ハ松平大使ニ対シ明年開催セラルヘキ海軍會議ニ対スル予備交渉ニ閑シ意見ヲ開陳スヘキ時期ニ達シタリト思考スト前提シタル上英國政府ハ明年早々會議ヲ開催シ度キ意向ナルカ右會議ヲ容易ナラシムル為ノ準備行為トシテ関係国ニ個別的且秘密ニ意見ノ交換ヲ行フコト必要ナリト認ムル処若シ日本政府ニ於テ右ニ賛同セラルルニ於テハ予備交渉ニ参加スヘキ代表ヲ任命セラレ度ク商議ハ倫敦ニ於テ開催シ度キ意向ナル旨陳ヘタリ依テ松平大使ハ右ノ次第ハ既ニ米国側ノ意見ヲ確メラレタル

上ナリヤト問ヒタルニ「サイモン」ハ未タ米国側ニハ相談セス最初ニ日本側ノ意向ヲ質シタル上米国側ニモ同様ノ話ヲ為ス積リナリト答ヘ(イ)仏伊両国ニモ参加ヲ求ムル次第ナリヤ又(ロ)予備交渉ニハ特ニ代表ノ派遣ヲ期待セラルル次第ナリヤ若シ然リトセハ本會議ノ開催地及時期ヲ考慮スル必要アルヘキ處之ニ対スル英國側ノ意見如何トノ松平大使ノ質問ニ対シテハ夫々(イ)地理的関係ヲ考慮ニ入レ差当リ日米ノコトヲ考ヘ居リタルカ追テ仏伊ニモ話スコトナルヘシ(ロ)予備会商ニ代表ヲ特派スルヤ否ヤハ日本側ノ意見如何ニヨルヘシ本會議ノ開催地ニ付テハ英國側トシテハ之ヲ倫敦ニ於テ行ヒ度キ意向ナルモ未タ決定シ居ル訳ニハアラス此ノ点ニ付テモ日本政府ノ意見ヲ承知シ度キ旨答ヘタリ

(二) 帝国及米仏伊政府ノ受諾

右英國政府ノ提議ニ対シ帝国政府ニ於テハ明年海軍會議ニ付テハ種々ナル困難ヲ予想セラルルニ鑑ミ予備交渉ヲ行フコトハ適當ナリト認メタルヲ以テ左記了解ノ下ニ英國政府提議ヲ受諾スルト共ニ右交渉ニハ松平大使ヲシテ當ラシムコトヲ決シ英國側ヘ申入方五月二十九日松平大使ニ電訓シタリ

(一) 本會議開催ノ時期ハ我方諸般ノ都合上略々明年四月トシタシ

(二) 予備交渉ノ地点ヲ倫敦トスルコトニ異議ナキモ本會議開催地ハ予備交渉ニ於テ決定スルコト（帝国政府トシテハ英米及瑞西以外ノ地点例ヘハ巴里ヲ最モ希望ス）

(三) 商議事項ハ差当リ本會議ニ於ケル議題、本會議參加國、本會議開催期日及場所及招請方法等ノ手続問題ニ限ル（予備交渉ニ於テ兵力量等ノ實質問題ニ入ルノ可否ニ付テハ未定ナル處東亞ニ闊スル政治問題討議ニハ同意スル能ハス）

(四) 倫敦ニ於ケル關係國間ノ秘密且個別的交渉ノ外同地以外ニ於テ關係國ト折衝スルヲ妨ケサルコト

帝国政府ノ予備交渉開催受諾ニ闊スル前顯訓電ニ接スルヤ松平大使ハ五月三十日英国外務次官「バンシター」及「クレーギー」ニ会見（「サイモン」寿府ニ赴キ不在）訓令内容ヲ伝ヘタル處「バンシター」ハ商議事項ニ關シ日本ハ技術的問題ハ議セラレサル方針ナリヤト尋ネタルニ依リ松平大使ヨリ日本ハ之ヲ除外セント欲スル意味ニハ非スト思考スルモ砲ノ口径、軍艦ノ大キサノ如キ技術的問題ハ専門家ヲ待タスシテハ審議出來サルヘク兵力量ノ如キ「ヴァイタル」ノ問題ヲ予備交渉ニ於テ議スルヲ適當トスルヤ否ヤニ闊シテハ政府ニ於テ目下慎重考慮中ナルニ付差当リノ議題トシテハ本會議參加國、開催期日、場所及議題並ニ招請方法等ヲ議スルコト適當ナルヘシト答ヘタルニ「バンシター」ハ他ノ方面ニ於テ技術的問題ニ闊シ討議カ始マルニ於テハ日本ノミカ取残サレタルカ如キ感シヲ与ヘ面白カラサルニ付成ル可ク速ニ専門家ノ派遣ヲ望ム旨並ニ兵力量其他「ヴァイタル」ノ問題ニ付テモ予備交渉ニ於テ話ヲ為シ置クコト本會議ニ於テ突然話ヲ為ス

ヨリモ安全ナルヘキニヨリ之等ニ付テモ意見ノ交換ヲ為シ度キ旨ヲ述ヘタリ

曩之我方ニ対スルト同様ノ提議ヲ受ケタル米国政府ハ五月二十五日英國政府ニ対シ予備交渉開催ニ同意スル旨但シ右交渉ハ外交的機關ニ依リテ行ヒ且手続問題及技術的問題ヲ議スヘキ旨通報シタルカ六月一日「クレ一ギー」ヨリ松平大使ニ対シ書面ヲ以テ「ビンガム」大使及「ノーマン、デーヴィス」カ米国ヲ代表シテ予備交渉ニ当ルヘク右両氏ハ必要ナル技術家ニヨリテ援助サルヘキ旨通報越セリ

英國政府ハ当初仏伊ニ対スル招請ハ後廻シトスル意向ナリシカ英米接触ノ次第カ華府官辺ヨリ新聞ニ洩レタル等ノ為同政府ハ五月二十五日仏伊両国政府ニ対シ両政府カ適當ナル時期到来セリト思考セルトキ成ルヘク速二個別的意见交換ニ入りタキ旨申入レ之ニ対シ仏伊両国政府ハ受諾ノ旨六月中ニ回答越セル趣ナリ

(三) 手続問題ニ関スル帝国政府ノ方針

予備交渉商議事項中手続問題ニ対スル帝国政府ノ方針ハ左ノ通決定シ六月八日及十四日松平大使宛電訓セリ
(一) 本会議參加国

明年ノ会議ハ海軍軍縮ノ既存条約ニ関スルモノナルヲ以テ參加國ハ日英米仏伊ノ五國トスルコト、即同會議ニ於テハ華府條約中ノ兵力ニ關スル實質問題ヲ議題トシテ討議スルノ必要モアリ華府條約締約國タル仏伊両国ノ参加ヲ必要トスルヲ以テ帝国トシテハ本会議參加國ヲ日英米三国トスルコトニハ反対ナリ、一方現存海軍条約ニ關係ナキ国ヲ明年ノ会議ニ参加セシムヘキ正当ナル理由ナキヲ以テ独逸、蘇連邦等ヲ本會議ニ参加セシムルコトニモ反対ナリ

(二) 本会議開催地

本会議ニ於テハ日英、日米間ニ相当突込ミタル議論モ生スヘキ處之ニ關スル「イリティイション」ヲ成ル可ク少クスル為比較的中立ナル地帶ヲ希望シ又我国ニ於テハ華府倫敦両條約ハ英米両國ノ圧迫ニヨリ締結セラレタリトノ印象ヲ藏スルモノ少カラサルニ鑑ミ明年ノ本会議ハ倫敦華府ハ之ヲ避ケ度キ意向ニシテ出来得ヘクンハ巴里ヲ希望スルモ已ムヲ得サル場合ハ倫敦ニテモ致方ナシ

(三) 本会議開催期日

歐州ヨリ遠隔ナル地点ニアル本邦ヨリ相當人員ヲ派遣スル必要アルコト、議會開会中ヲ避ケ度キコト等ヲ考慮ニ入レ開催期日ハ大体明年四月頃ト致シ度シ

(四) 招請方法

招請國ト会議所在國トカ必シモ一致スル必要ナカルヘキニヨリ倫敦以外ニ於テ会議ヲ開ク場合ニ於テモ英國力主催国トシテ招請スルコトニ異議ナシ

(五) 議題

倫敦條約關係事項及華府條約規定ノ主力艦及航空母艦ニ關スル問題トスルヲ適當トス防備制限條項ヲ議題トスル提議アラハ同意シ差支ナキモ東亞政治問題ノ上議ニハ反対ナリ

第二節 予備交渉ノ経過

(一) 第一回日英会談

斯クテ予備交渉ハ六月十八日第一回英米及日英会談ヲ皮切りニ行ハレタリ

第一回日英会談ハ松平大使「マクドナルド」首相間ニ行ハレタルカ先ツ「マクドナルド」ヨリ同日朝行ハレタル英米会談ノ模様ヲ話シ本会議ノ時期ニ付テハ英國側ハ来年ハ皇帝即位二十五年祭アルヘク会期カ之ト打突カラサル様致シ度キニ付出来得レハ一月早々ニ開会致シ度ント述ヘ米国側ハ議会ノ都合ニヨリ夏頃ニ開会シ度キ希望アリタル趣ヲ伝ヘ日本側ノ意向ヲ尋ネタルニ付松平大使ハ日本ハ議会其他ノ関係モアリ四月以後ニ非サレハ準備整ハサルヘキ旨ヲ述ヘ又議題ニ付テハ主力艦及航空母艦ニ関スル華府海軍条約及倫敦海軍条約ニ付テ議スルコトヲ適當ト考ヘタル次第ヲ告ケタルニ「マクドナルド」ハ今朝米国代表ト話合ノ際来年ノ本会談ニ於テ日本側ハ政治問題ニ触ルルコトニ反対シヲルコトニ言及シタルニ此ノ点ニ付テハ英米共日本側ノ主張ニ同意見ナリシコト、尤モ政治問題ナル語ハ極メテ漠然タル語ナルモ来年ノ本会議ニ於テモ小サキ政治問題ニ触ルルコトアルヘキハ已ムヲ得サルヘシト語リタルニヨリ松平大使ハ日本側ニ於テ政治問題トイフハ極東ニ於ケル政治問題ナル意味ニシテ例ヘハ華府会議ニ於テ論議セラレタル東洋問題ノ如キモノハ本会議ニ於テ論議スルコトニ反対ナル旨伝ヘタルニ「マクドナルド」ハ斯ノ如キ問題ハ英米トモ之ヲ議題トスル意思ナキ旨答ヘタリ

更ニ会議ノ場所ニ関シ「マクドナルド」ハ米国側ハ華府ヲ希望セス英國ハ強イテ倫敦ヲ主張スル訳ニアラス関係國ト協議ノ結果決定スルコトトナルヘキ旨述ヘタルニヨリ松平大使ハ場所ニ付テハ日本側ハ東京ヲ主張スル意思ナシ唯海軍會議ニ最モ関係深キ國ノ都市即華府、倫敦、又ハ東京ニ於テ會議ヲ開ク時ハ新聞ノ圧迫ノ為好マシカラサル結果ヲ生スル惧アルニ付之等以外ノ土地ニ於テ行フコト至当ナルヘシト思考シヲル旨ヲ告ヶ會議招請國ニ付テハ松平大使ヨリ日本トシテハ會議參加國ハ日、英、米、仏、伊ノ五ヶ國ニ限ルコトヲ適當ト認ムル旨申述ヘ其理由トシテ例ヘハ独逸ヲ招請スレハ自然露國ヲモ招請セサル可カラサルニ至ルヘク露國招請ノ結果ハ種々政治問題ヲ持チ出シ結局海軍會議カ不成功ニ終ルヘキコトハ想像ニ難カラス又仏國カ小協商國ヲ引入レントスレハ勢ヒ他ノ諸國モ参加ヲ申込ムモノ現レ來リ支那ノ如キモ割込ヲ主張シ遂ニハ政府軍縮會議ノ二ノ舞トナルヘキニ付日本トシテハ日、英、米、仏、伊ノ五ヶ國ニ限定セントスルモノナルコトヲ開陳セリ

(二) 第一回日米会談

第一回日米会談ハ六月十九日松平大使「デーヴィス」間ニ行ハレ「デーヴィス」ヨリ自分ハ実質問題ヨリ前ニ手続問題ヲ議スルコトハ車ヲ馬ノ前ニ着クル如キモノニシテ、時期場所等ノ問題ハ實質問題決定セハ何時ニテモ解決シ得ル問題ナリト思考スルモ「マクドナルド」ノ主張ニヨリ手續問題ヲ先ニ議スルコトトナレリト前置キン本会議開催ノ時期ニ関シ米国トシテハ憲法改正ノ結果新議会ハ一月ニ開カルルコトトナリタル為会議ヲ一月ニ開クコトハ困難ニシテ議会閉会後即大体六月初ヲ便宜トスルモ英國カ急クナラハ五月位ニ繰上

ケ得ヘキカト思考スル旨ヲ開陳シ議題ニ付テハ大ナル政治問題ニ触レサルコトニハ英米共同意見ニシテ日本側ニ於テハ滿州國ノ問題ニ触ルルコトヲ好マレサルモノト思考スル處斯ノ如キ問題ヲ取上ケテ本會議ノ議題トスルカ如キ考ハ毛頭ナキコトヲ明言セリ、開催ノ期日ニ関シテハ松平大使ヨリ日本ハ四月以後ヲ便宜トシ大体米国ト同意見ナルコトヲ述へ場所ニ付テモ前日「マクドナルド」ニ話シタルコトヲ繰返シタルニ「デーヴィス」ハ第三國ノコトモ考ヘラレサルニ非ルモ各々ノ國ニ付検討セハ夫々ニ困難アルヘク新聞ノ圧迫ノ点ヨリセハ英國カ最モ少ク從テ最モ無難ナルヘキ旨申述ヘ次テ松平大使ヨリ招請國ハ日、英、米、仏、伊ノ五ヶ國ニ限ルヲ適當トスヘキコトニ関シ前日「マクドナルド」ニ申入レタルトコロヲ繰返シタルニ「デーヴィス」モ之ヲ尤モナリト首肯セリ

(三)英米交渉

第一回英米会談ハ六月十八日午前、第一回日英会談ノ行ハルニ先立チテ英米代表間ニ行ハレ本會議開催ノ時期、場所等ノ手続問題ニ關スル討議ヲ為シタルカ新聞報ニ依レハ英米第二回交渉ハ二十日首相官邸ニ於テ行ハレ会談後英國側ハ声明ヲ発シ同日ノ会合ニ於テハ前回ノ一般討議ヲ続行シタルカ英米専門家ハ二十一日会合スヘク本會議開催ノ時期及場所ニ関シテハ未タ決定ヲ見ス英國政府ハ倫敦ヲ會議地トスルコトニ異存ナキモ關係國ノ意見ヲモ考慮スヘシト發表セリ

英米間ニハ其後モ引続き話合行ハレタルカ如ク六月二十八日「クレーギ」カ松平大使ニ語リタル処及七月九日「デーヴィス」カ松平大使ニ語リタル処ニヨレハ英國側ヨリ米國側ニ対シ巡洋艦七十隻保有主義ヲ提出

シ之ニ対シ米國側ニ於テモ意見ヲ提出セルモ結局英國ノ小艦多數主義ト米國側ノ大艦少數主義トカ相対立シ交渉停頓ノ形トナレルモノノ如シ

(四)第二回日米会談

第二回日米会談ハ六月二十三日松平大使、「デーヴィス」間ニ行ハレタルカ六月二十日ノ第二回英米会談ニ於テハ手續問題ノミナラス實質問題ノ討議ニモ入りタルモノノ如ク「デーヴィス」ハ松平大使ニ対シ英國側ニ於テハ現行條約殊ニ倫敦條約ニ付不満ヲ有シヨリ華府、倫敦兩會談ノ結果ニ訂正ヲ必要トスル点アリト為シ各自ノ要求ヲ極メテ率直ニ提出スル様提案シタルカ米國側ニ於テハ華府、倫敦兩條約ハ各國ノ互讓妥協ニヨリテ成立シタルモノナルヲ以テ各國夫々ノ不満ハアルトスルモ造艦競争ヲ停止セシメタル点ニ於テ大ナル効果アリタルモノナルヲ以テ先ツ之ヲ維持シツツ之カ訂正ヲ研究スヘキナリト答ヘ置キタルカ英國側ニ於テハ之カ訂正方ニ付目下専門家ノ手許ニ於テ研究中ナル由ナルニ付其内容ニ付テハ直接英國側ヨリ聞カレ度旨述ヘタルヲ以テ松平大使ハ最初予備交渉開始當時當地及米國ノ新聞ニ表ハレタル所ニヨレハ予備交渉ニ於テハ手續問題ノミヲ議スル様見工居リタルニ前回ノオ話ニヨレハ米國側ハ總テノ問題ニ付討議ノ用意アリト云ハレタルハ如何ト尋ネタルニ「デーヴィス」ハ最初ハ先ツ手續問題ヨリ取掛ル積リナリシカ一応其話ヲ為シタルハ専門的事項ニ入り更ニ進ンテハ兵力問題ニ付テモ意見ノ交換ヲ為スコト然ルヘク本會議開催ニ至リテモ無駄トナラサル様子備交渉ニ於テ見極メヲ付ケ置クコト必要ナリ尤モ自分ハ之等問題ニ付詳シキ訓令ヲ有スル次第ニ非ス話ノ進ムニ從ヒ請訓ヲ為セハ足ルモノト考ヘ居ル旨ヲ述ヘ更ニ招請國ノ範囲ニ付テハ仏

國ハ本會議ニハ日英米仏伊ノ五ヶ國以外ニ小協商国ヲモ招請シ度キ意向ナル旨聞キ及ヘルモ仏國カ自國ニ都合ヨキ國ヲ招請スレハ伊國ハ「ユーロー、スラヴィア」ノ參加ヲ希望スヘク其ノ結果ハ西班牙、瑞典、支那等モ参加スルコトトナリ會議ハ何等ノ結果ヲ得サルコトトナル惧アルニ付先ツ五國ニテ會議ヲ為シ五國間ニ何等カノ諒解成立シタル後必要アラハ其他ノ諸國ヲ加フルコト然ル可シト為ス意向ニテ英國側ニ對シテモ其ノ趣旨ヲ申入レ置キタル旨語リタリ

(五) 松平大使「クレーギー」会談

六月二十八日松平大使ハ「クレーギー」ヲ往訪シ會談セルカ其際「クレーギー」ハ英米會談ノ進展振りニ関シ要スルニ極メテ率直ニ各自ノ要求ヲ出シ合ヒテ其ノ間ニ何等カ妥協点ヲ見出ス為ニ不取敢英國側ヨリ要望ヲ提出シタル訳ニテ右提案ニ關シ世間ニテハ兎角ノ非難モアル様ナレト別ニ英國提案ト称スル程ノモノニアラス日本側ハ技術問題ニ付テハ未タ討議ノ御用意ナキ由ナルニ付右案ノ内容ニ付テハ未タ御話シスル時機ニ達シヲラスト思考スル旨ヲ述ヘ松平大使ヨリ巡洋艦七十隻保有ニ關スル英國提案ニ付尋ネタルニ対シテハ「クレーギー」ハ巡洋艦七十隻ハ予テヨリノ英國ノ最少限度ノ要求ニシテ海軍側ハ出来得ル限リノ拡張ヲ希望スルハ勿論ナリ唯平時的見地ヨリ政府ハ能フ限り之ヲ縮減セント努メラル次第ナレトモ英國海軍ノ勢力ハ戰前ニ比シ主力艦及巡洋艦ニ於テ著シク低下シヨリ且歐州昨今ノ政情ニ鑑ミ巡洋艦七十隻保有ハ決シテ膨大ナル計画ニアラサル旨強調シ結局問題ハ英國從来ノ主張タル小艦多數主義ト米國ノ主張タル大艦少數主義トヲ如何ニ調整シ得ルヤカ問題ナリト語リ日本側ニ於テモ成ル可ク速ニ専門家ヲ派遣セラレ度ク尚日本側ハ艦

型砲種等ニ付テ議スル外兵力量等ノ重要問題ニ付テモ議スル積リナリヤト問ヒ松平大使ハ此ノ点ニ付テハ目下政府ニ於テ慎重考慮中ナルカ最初米國側ニ於テハ之等ノ問題ニ迄触レテ論議スルヲ避クルカ如キ情報アリタル為政府ノ考慮モ遅レタルモノト思考スル旨答ヘタリ尚參加國ニ付キ「クレーギー」ハ英國側ニ於テモ日英米仏伊ノ五ヶ國ヲ適当ト認ムル旨附加セリ

(六) 實質問題討議ニ關スル帝國政府ノ訓電

帝國政府ニ於テハ予備交渉ニ於テハ差當リ手続問題ノミヲ討議スル積リナリシコト前述ノ通ナル処、一方英國側ニ於テハ五月三十日帝國ノ予備交渉參加回答ノ際既ニ兵力量等ノ實質問題ヲモ討議ノ希望ヲ示シ其ノ後屢次ノ日英会談ニ於テモ速ニ實質問題ニ入ルノ必要ヲ述ヘタルカ他方英米間ニハ前項ノ通實質問題ニ關スル討議行ハルニ至リタルヲ以テ帝國政府ニ於テモ之等諸般ノ事情ニモ鑑ミ慎重考慮ノ結果六月下旬

(一)(イ) 海軍軍縮ノ一般原則ニ關シ帝國ノ抱懷セル見解及帝國主張ノ大綱ヲ開示シ狀況帝國ニ有利ニ展開スル場合ニ於テハ更ニ進ンテ具体的問題ニ入ルモ差支ナシ但シ右ノ場合ニ於テモ兵力ニ關スル具体的数字ハ英米ニ先チ提示セサルコトトシ先ツ出來得ル限り他國ノ意向ヲ判明セシムル様努ムルコト
(ロ) 量的問題ト質的問題トヲ切離シ量的問題ニ先チ質的問題審議ニ入ルコトハ帝國ニ不利ナルヘキニヨリ之ヲ採ラス

(二) 右實質問題討議ニ入ル場合ニハ帝國ヨリモ相当ノ人員ヲ派遣スル必要アルニ付本件交渉ハ十月頃トナルヘシ

トノ方針ヲ決定シ六月一十九日其趣旨ヲ松平大使ニ電訓セリ

一四

第三節 交渉一時中止ト米国代表ノ帰国

〔中止ニ至ル事情

於茲松平大使ハ七月上旬英国外務参事官「クレーリー」ニ対シ日本政府ニ於テハ予備交渉ニ於テ実質問題ヲ討議スルコトニ関シ日下慎重ニ考慮中ナルカ実質問題討議ノ為ニハ相当ノ人員ヲ派遣スル必要アル為十月ニナラサレハ重要問題ノ討議ニ入り得サルベキ旨申入レタル処恰モ英米会談行詰リノ際ナリシヲ以テ「チーヴィス」米代表ハ七月九日松平大使ニ対シ其後英米間ノ話合ハ何等進捗セサル處日本側ニ於テハ十月二十九サレハ重要問題ニ関スル討議ニ入り得サル趣ナル処果シテ然ラハ米国代表部ハ此際ニ先ツ帰國シ日本カ実質問題ノ討議ニ入り得ル時期ニ再ヒ来ランカト思ヒアリ然ルニ米側代表カ突然帰國シ其理由ヲ明示セサルニ於テハ世間ニ疑惑ヲ与ヘ軍縮會議ノ前途ニ障碍ヲ來スベキ虞アルヲ以テ日本カ十月ニ至ラサレハ専門事項ノ協議ニ入り得サル旨アリ一般ニ明カニスルヲ得ハ幸ナル旨ノ申出アリ次テ七月十一日「クレーリー」ヨリモ同様ハ申出ハ為スルに交渉中止事情ニ關スル左記ノ如キ案文ヲ提示セリ

Discussions have been taking place between the Japanese Ambassador and British Ministers on matters of procedure. It is not anticipated that any talks on other naval questions will take place between the Japanese and British representatives until October, when the Japanese Government expect

to send over technical representatives for the purpose.

右ニ対シ帝國政府ニ於テハ事情口マヲ得スベリ謹メタルヲ以テ英國側提出案文ニ「一、一」字句ノ修正ヲ為シ且米國側ノ希望ニヨリ若干修正ノ上七月十七日東京及倫敦ニ於テ左ノ通公表セリ

東京ニ於ケル公表文

「昭和十年海軍軍縮會議ニ關スル手続問題ニ付テハ既ニ倫敦ニ於テ在英日本大使及英國主管大臣間並ニ在英日本大使及米国政府代表者間ニ討議セラレシツアリタルカ他ノ諸問題ニ關スル日本代表者トノ話合ハ日本政府カ右目的ノ為専門家ヲ派遣セントスル時機即大体十月頃迄ハ行ハレサル筈ナリ」

倫敦ニ於ケル公表文

Discussions have been taking place in London between the Japanese Ambassador and British Ministers and also between the Japanese Ambassador and the representatives of the Government of the United States of America on matters of procedure. It is not anticipated that any talks on other naval questions will take place with the Japanese representatives until about October, when the Japanese Government expect to send over experts for the purpose.

〔交渉中止ハ公表文ニ対スル英國ノ新聞反響

右公表文ハ英國ニ於テハ十七日ヘ朝刊各紙ニ掲ケハシ「タバコ」「ガーブ」及「ガーブ・イヤハ」ベ如ム共ニ日本官刃ノ説明、海軍主脳會議ノ結果等ヲ報シタル東京電報並ニ米国國務長官「ヘル」カ「ハーヴィス」ヘ

帰米ハ交渉ノ破裂ヲ意味セスト述ヘタル由ノ華府電報等ヲ掲載セル處一部新聞ハ本件延期カ恰モ日本側ノ責任ナルカノ如キ印象ヲ与フル報道振リヲ為シヨリ殊ニ「ヘラルド」ハ第一面ニ Japan Torpedoes Naval Conference ナル大見出シノ下ニ日本ハ均等要求ノ準備ノ為交渉ヲ延期セシメタリ昨日ノ海軍主脳會議ニヨリ裏書セラレタル右日本ノ態度ハ来年ノ本會議ヲ無用ナラシムヘシト報シタリ

(三) 交渉中止ニ至リシ他ノ原因

交渉中止ノ一因カ日本ノ実質問題討議參加カ十月ニ至ラサレハ不可能ナルコトニ存スルコトハ前記ノ通ナルモ結局英國ノ小艦多数主義ト米国ノ大艦少数主義ニ関スル從來ノ主張ノ相違カ再ヒ繰返サルルニ至リ話合カ全ク行詰リタルコトカ他ノ重要ナル一因ニシテ日本カ実質問題ノ討議ニ參加スルコトトナラハ或ハ英米間ノ差異ヲ接近セシムルヲ得テ何等カノ解決方法ヲ見出シ得ルヤノ望ヲ有シ從テ会談ヲ今秋迄延期セシメタルモノカト察セラル節アリ又英米間ノミニ実質問題ノ討議進捗スル時ハ恰モ英米間ニ先ツ海軍問題ニ関スル協定ヲ遂ケ以テ日本ニ当ラントスルカ如キ印象ヲ与ヘ面白カラサルヲ以テ日本カ実質問題討議ノ為専門家ヲ派遣シ得ル時期迄話合ヲ延期セントシタルモノナルコトモ他ノ一因ナルコトハ「クレーギー」及「デーヴィス」カ屢々松平大使ニ語リタル處ニ依リ推察シ得ラルル处ナリ

(四) 米国代表帰国

斯クテ米国代表「デーヴィス」ハ七月十九日専門家一行ト共ニ帰米ノ途ニ就キ茲ニ予備交渉ハ十月迄中絶セラルルコトトナレリ

第四節 英伊交渉

伊国政府ハ英國側ノ招請ニ応シ「ビシア」大佐ヲ七月二十九日倫敦ニ派遣シ三十日、三十一日ノ両日ニ亘リ英國側ト話合ヲ為サシメタルカ右話合ハ主トシテ今迄ノ交渉振リヲ確カメタルニ過キス真ノ交渉ハ秋迄繰延ヘラレタリ

第二章 再開後ノ予備交渉経過（英國ノ示唆案提示迄）

第一節 予備交渉（実質問題）ニ対スル帝国政府ノ方針決定

(一) 山本少将帝国代表ニ追加

斯クテ帝国政府ニ於テハ十月頃ヨリ軍縮ノ実質問題ニ關シテモ交渉ヲ進ムルコトトナリタルヲ以テ山本五六少将ヲ帝国代表ニ追加スルコトニ決シ内奏ヲ経タル上九月七日附ヲ以テ同少将ヲ帝国代表ニ追加セリ

(二) 閣議決定

軍縮ノ実質問題ニ關スル帝国ノ方針ニ付テハ關係當局ニ於テ慎重協議シタル結果成案ヲ得九月七日ノ閣議ニ於テ左記(三)ノ根本方針ヲ決定シ直ニ松平大使宛電報シ且別ニ松平・山本両代表ニ対シ後頭(四)ノ訓令ヲ与ヘタリ